

10. (Gno.25) 現代アメリカ商取引法の研究 (アメリカ商取引法研究会)

代表：平泉 貴士

1995/11/10 (承認) 1995 年度 (開始)

【研究の目的】

現代経済社会の構造的変化に対応して、アメリカ統一商法典 (U.C.C.) の改正作業がダイナミックに展開している。当研究会においては、主として流通証券、電子資金移動、売買等に関する U.C.C. 諸規定の改正動向を調査研究し、アメリカ商取引法分野の現代的変容の意義と特質を明らかにする。

【研究活動及び成果】

総括

各メンバーが個別に現代アメリカ商取引法およびその関連領域についての研究を継続した。コロナ禍のなか、「現代企業法制研究会」(座長・福原紀彦所員)等への参加がかなわなかったのは残念であった。

学会発表

武田 典浩「再保険契約の構造とその約款について - 東京地判平成 31 年 1 月 25 日金判 1576 号 20 頁を契機として」日本保険学会関東部会 (2020 年 9 月 18 日)

学術雑誌

武田 典浩「船舶金融のために締結された誓約の効力とそれに起因する会社更生手続申立の権利濫用又は信義則違反の該当性」『早稲田法学』96 卷 1 号 (2020 年 11 月)

武田 典浩「取締役責任論から見た倒産法の基礎理論：イギリス倒産法における不当取引の議論を参照して」『最先端技術関連法研究』19 号 (2020 年 11 月)